

地域づくりの担い手育成に向けた 行政と住民の連携・協働

1. 研究テーマ
2. 後志管内の取組
3. 成果
4. 課題と今後

1. 研究テーマ

2. 後志管内の取組

3. 成果

4. 課題と今後

1 研究テーマについて

研究テーマの設定理由

地域づくりの担い手育成は行政だけではできない！



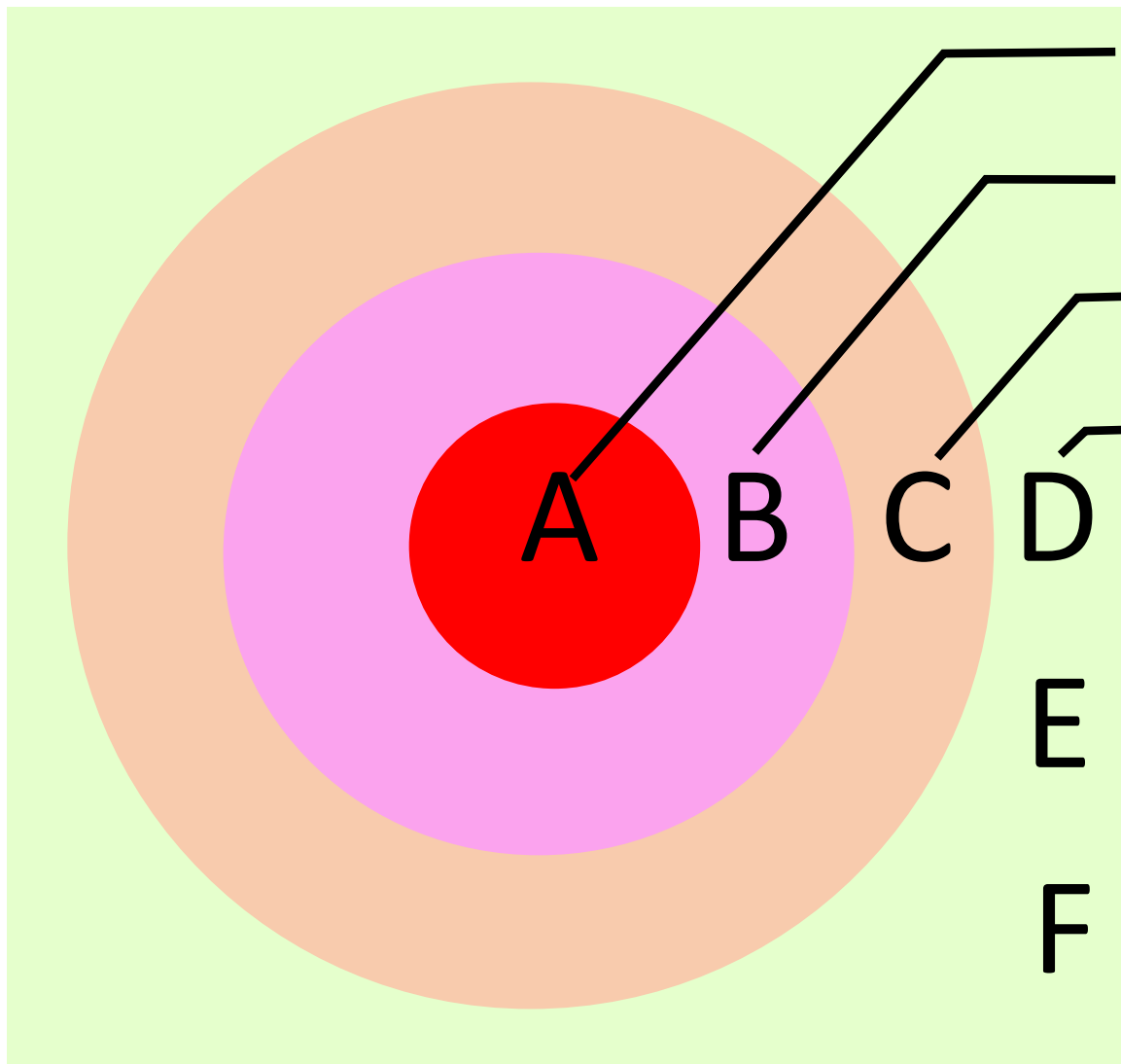
行政と住民との連携・協働

地域づくりの担い手育成に向けた
行政と住民の連携・協働

持続的に地域づくりの担い
手を育成できる仕組み
の構築

様々な切り口(視点)による具体的な課題や実践から、地域づくりの担い手育成につながる「行政と住民の連携・協働」を促すための社会教育行政(職員)の役割について追究する。

地域には様々な人がいる！



A：地域のリーダー的住民



B：リーダーを支える住民



C：地域の活動を理解する住民



D：地域の活動に関心はあるが
理解していない住民



E：地域の活動に関心がない住民



F：将来の担い手となる若年層
(中高生)



当初は・・・

A：地域のリーダー的住民



社会教育行政が育成



A

リーダーは、
大変なんですよ！

ところが・・・



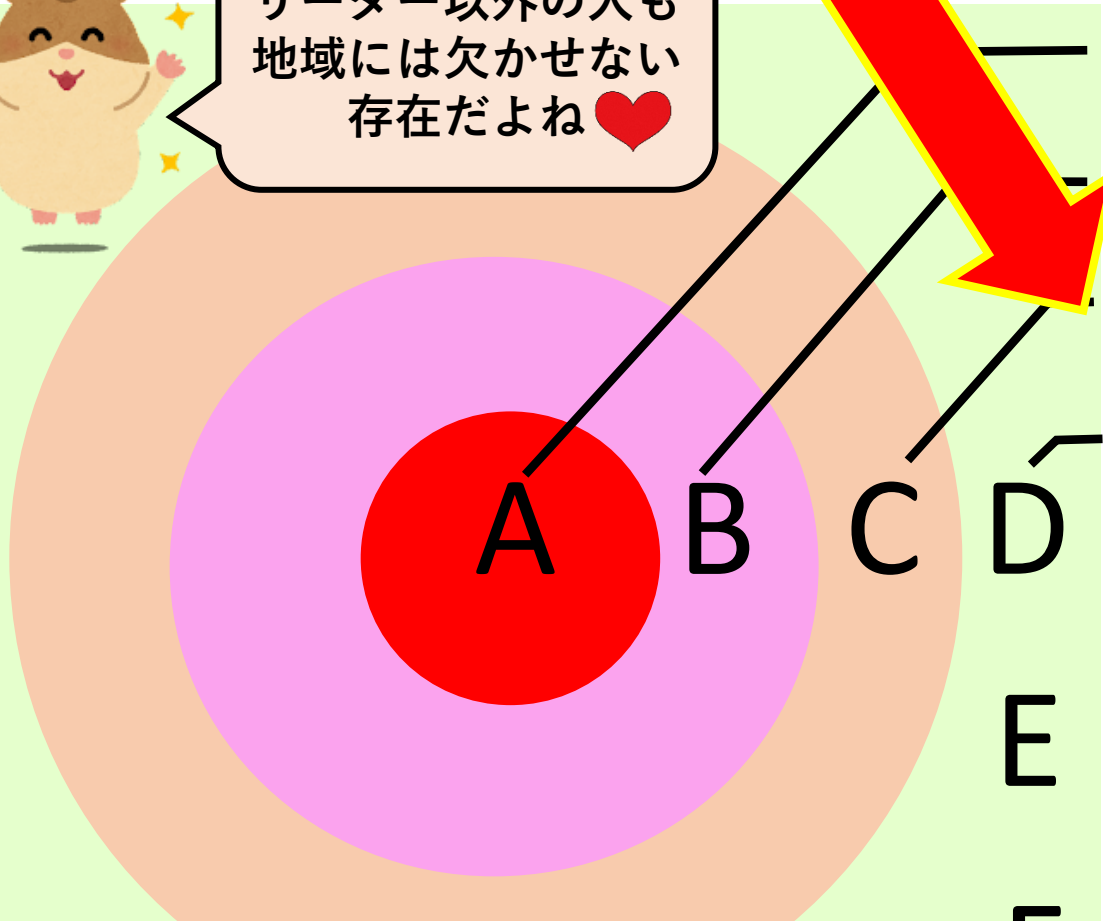
人数が少ない
疲弊



いろいろな人たちを総合的に育成することに！ (3~4年次研究)



リーダー以外の人も
地域には欠かせない
存在だよね ♡



- A: 地域のリーダー的住民
- B: リーダーを支える住民
- C: 地域の活動を理解する住民
- D: 地域の活動に関心はあるが理解していない住民
- E: 地域の活動に関心がない住民
- F: 将来の担い手となる若年層 (中高生)

社会教育行政の役割は
地域住民を F → E → D → C → B → A へ導くこと。

1. 研究テーマ

2. 後志管内の取組

3. 成果

4. 課題と今後

しりべしジュニアリーダーワークショップとは？

目的 管内の中高生が地域課題の解決に向けた実践的な学習活動を行い、次世代の地域リーダーとしての資質向上を図るとともに、地域への愛着を図る。

①事前研修（オンライン）

- ・ジュニアリーダーとは？
→講話を通じて学ぶ



②事業参画（5月～）

- ・それぞれの市町村の事業へ参加



③事後研修

- ・中高生の交流と発表（当初案）
↓
・社会教育担当者によるアンケート



若年層

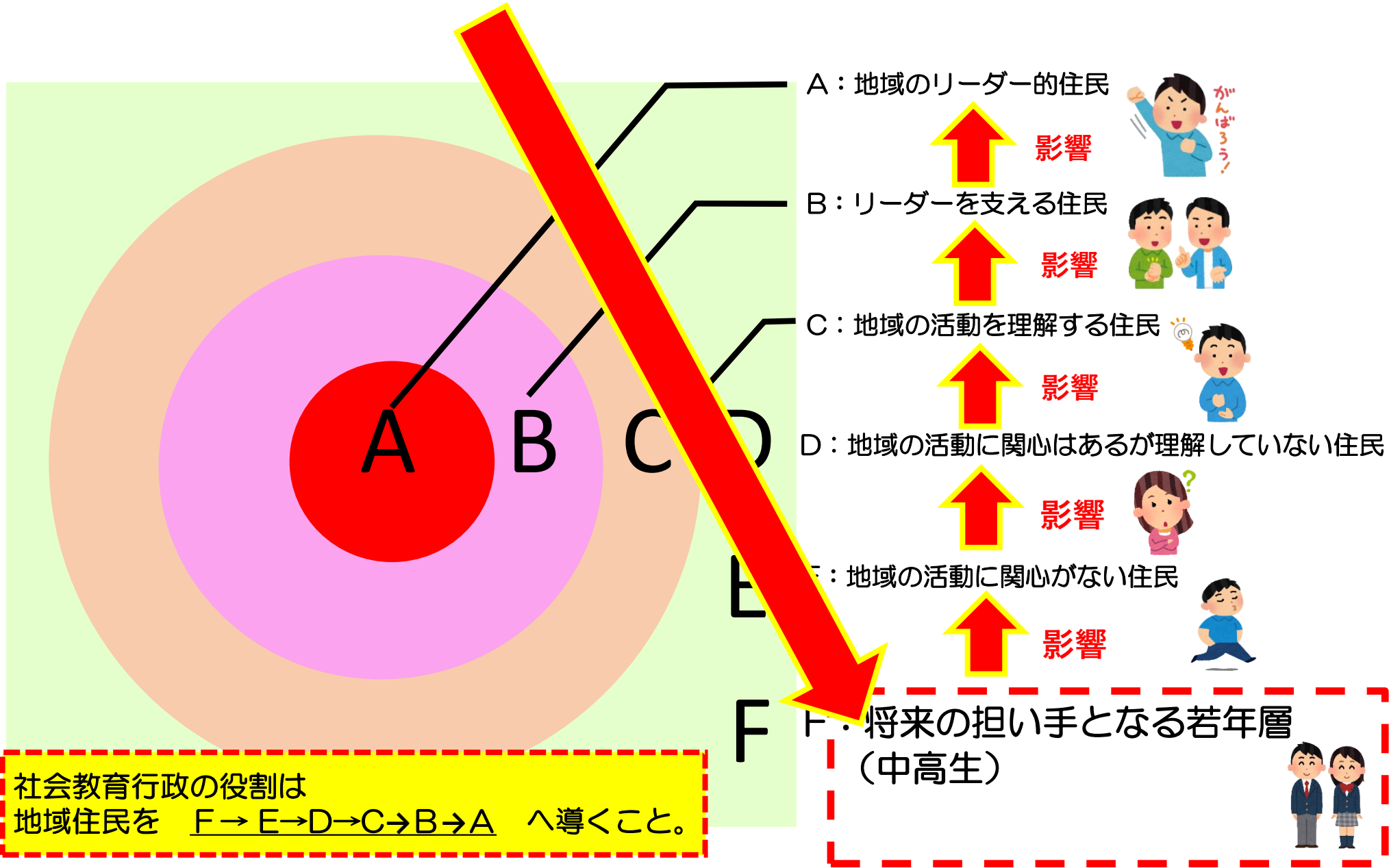


地域との交流を
とおして

未来の地域の担い手への
きっかけに！



若年層（中高生）をターゲットに！（3～4年次研究）



社会教育行政の役割は
地域住民を F→E→D→C→B→A へ導くこと。

① 事前研修の様子

○ 期日 令和4年5月26日（木） 午後4時から

○ 場所 オンライン

○ 主な内容

講 話 「リーダーとは？」

講 師 後志教育局社会教育指導班主査 田中 尚史 氏

○ 参加者 中学生16名 高校生5名 計21名




Good job!




参加者の声

事前研修どうでしたか？



リーダーは確かに重要だけど、
リーダー以外の人活躍も
あって組織が成り立っている
ことがわかりました！

これから町の事業に参加することになりますが、どんなことが楽しみですか？



・ 幼い時から参加している地域のイベントに自分の考えを反映できるので、どうなるのが楽しみです！

・ 地域の色々な人たちと関われるのが楽しみです！

②それぞれの自治体の取組

11町村が参加！
新規での参加も！

①喜茂別町 きもべつジュニアリーダーワークショップ

②蘭越町 蘭越町中高生ボランティア

③寿都町 令和4年度自然体験キャンプ

④島牧村 島牧ジュニアリーダー

⑤倶知安町 読書プロモーション計画

⑥赤井川村 弱点克服学習会

もっと参加して
欲しいなあ～



New ⑦積丹町 図書・文献等の整備と充実事業

New ⑧仁木町 にきジュニアリーダーワークショップ

⑨余市町 北海道余市紅志高等学校総合学科課題研究Ⅱ A班の活動紹介

⑩共和町 世代間交流会の企画・参加

⑪黒松内町 黒松内ジュニア教育委員会

喜茂別町

きもべつジュニアリーダーワークショップ

【事業の概要】 喜茂別中学生対象

- 事業 小学生学習会講師（夏休み、冬休みに実施）
- 内容 小学生の長期休業に合わせた学習会の講師



- 事業 きもべつ夏まつり運営協力（8月）
- 内容 小学生の長期休業に合わせた学習会の講師

- 事業 図書まつり運営協力
- 内容 図書まつりイベントの運営補助
（展示、小学生以下向けワークショップの補助、読み聞かせ実施など）



～森森のリーダーたちへのバトンをつなごう～

きもべつジュニアリーダー ワークショップ

参加者募集のおしらせ

理想のリーダーって？ わたしにできることはなんだろう？

まずは事前研修を受けてみよう！

とき 2022年 **5月26日**（木）

午後4時00分から1時間半程度
ところ 対面または、ZOOMによるオンライン

内容

昨年度のジュニアリーダーワークショップに参加した方々から体験談を聞き、これからの活動をイメージしてもらいます。また、リーダーとは？と題して様々なリーダー像についての学習を行います。
研修後は、喜茂別町の各種行事にジュニアリーダーとして参加していただきます。（昨年度は、小学生学習会（夏冬）や町図書館の読書企画展を企画していただきました。）

申込方法その他

- ・事前研修の申し込み期日は**5月23日（月）**までです。町内の行事等への参加はそのつど行います。
- ・申込用紙に必要事項を記入して、通学している学校の担任または教育委員会に提出してください。
- ・申し込みがあった方につきましては、後日教育委員会から各研修に出席するための連絡をいたします。
- ・この研修会について不明な点などがありましたら、お住いの教育委員会へお問合せください。

主催 後志社会教育主事会 共催 後志教育局

昨年年度のジュニアリーダーワークショップに参加した方々から体験談を聞き、これからの活動をイメージしてもらいます。また、リーダーとは？と題して様々なリーダー像についての学習を行います。
研修後は、喜茂別町の各種行事にジュニアリーダーとして参加していただきます。（昨年度は、小学生学習会（夏冬）や町図書館の読書企画展を企画していただきました。）

申込方法その他

- ・事前研修の申し込み期日は**5月23日（月）**までです。町内の行事等への参加はそのつど行います。
- ・申込用紙に必要事項を記入して、通学している学校の担任または教育委員会に提出してください。
- ・申し込みがあった方につきましては、後日教育委員会から各研修に出席するための連絡をいたします。
- ・この研修会について不明な点などがありましたら、お住いの教育委員会へお問合せください。

主催 後志社会教育主事会 共催 後志教育局

き		り	
ふりがな 氏名		学校名 学年	学校 学年
住所		緊急連絡先	
保護者氏名・承認欄	本事業への参加を承認いたします。		印

※この申込用紙は、個人情報保護のため本事業以外には使用せず、事業終了後は破棄します。

蘭越町

蘭越中高生ボランティア

【事業の概要】

- 参画者 中学生5名、高校生2名
- 実施日 令和4年6月～令和5年2月
- 目的 社会教育で主催している各種事業にボランティアとして参加し、学校や家庭で学ぶことのできない分野を体験してもらい、自信や積極性を養う

【内容】

- | | | |
|--------------------|-----------|-------------|
| ①オリエンテーション | 6月22日(火) | 16:00～17:00 |
| ②親子交流体験事業「お外で遊ぼう！」 | 7月 2日(土) | 9:30～11:00 |
| ③イングリッシュキャンプ | 7月29日(金) | 9:00～15:00 |
| ④町民歩こう会 | 10月 1日(土) | 8:30～11:00 |
| ⑤文化祭の裏方を体験しよう | 11月 1日(火) | 15:50～17:00 |
| ⑥スポーツクラブ「バドミントン教室」 | 12月24日(土) | 9:00～11:00 |
| ⑦イングリッシュキャンプ | 2月 4日(土) | 9:00～15:00 |
| ⑧図書館業務 | 2月中旬実施予定 | |
| ⑨事後研修(振り返り) | 2月下旬実施予定 | |



2 後志管内の取組

寿都町

令和4年度自然体験キャンプ

【事業の概要】

中高生ボランティアには、小学校4～6年生を対象にした自然体験キャンプにボランティアとして、中学生2名、高校生1名が参加をした。

事前検討会議に参加をしてもらい、当日の活動内容等を検討した。

【事業の成果】

キャンプの当日は、グループのリーダーとして、小学生を牽引していこうとする姿が様々な場面で見られ、キャンプの運営に大きく貢献していた。



1. 研究テーマ

2. 後志管内の取組

3. 成果

4. 課題と今後

変わる子どもたちの地域への意識！

参加前

【参加者の声】

- **そもそも地域づくりとは何かがわからない。**
- **どのような活動が地域づくりに繋がるのかわからない。**

【職員の声】

- **オリエンテーション時に地域づくりとは何かを説明したが、理解するまでには至らなかった。**
- **地域の知らない人と交流するには抵抗があり、交流に関しては積極的ではなかった。**

私たち子どもに地域の
ことを話されても！！



参加後

【参加者の声】

- **様々な事業に参加したことで、学校で経験できない事を経験することができた。**
- **地域づくりとは何かを少し理解することができた。**

【職員の声】

- **事業を通じて、中高生がたくさんの町民と交流したことで地域との関わりが増えた。**
- **地域づくりへの関心が高まり、自分自身で考えて行動するようになった。**
- **学校以外での大人との関わりや異世代との関わりを持つことができ、「自分たちでまちやイベントを盛り上げることができる」といった自信につながっていた。**

自分たちでも、できる
ことはあるんだ！！



1. 研究テーマ

2. 後志管内の取組

3. 成果

4. 課題と今後

しりべしジュニアリーダーワークショップの課題と今後

① 多様な人材との関りを！

- ・教育委員会の職員や、普段から関りのある地域の人など普段から接している人との限られた範囲での交流になってしまった。

② 参加しやすい工夫を！

- ・中高生は、学校活動、部活動等で非常に多忙であり、学校行事等との調整を図る必要がある。
- ・学校の活動とは直接的に関連が無く、一部学校側の理解を得にくい部分もあることから、学校活動に関わる取り組みも検討が必要である。

③ 多くの自治体の参加を！

- ・昨年 13市町村⇒今年 11町村
- ・今年度新規参加した自治体 2町
- ・社会教育の取組みを学校にもより多く知ってもらい、連携した事業の推進の必要性。